



合格もちで受験生にエール



**JA松任青年部
YOUTH SITE**



（西南支部笠間地区）

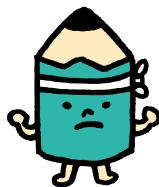
1月21日（水）、笠間青年部で制作した合格もちを、笠間中学校の3年生へ贈呈しました。贈呈式にはJA松任の得田組合長が参加し、盟友の城田さんと共に合格もちを手渡しました。受験生代表の生徒からは感謝の言葉と受験への意気込みを語っていただきました。

この活動は笠間青年部の先輩方より20年以上前から脈々と受け継がれてきた伝統行事です。合格と五角形をかけた紅白餅を受験生に贈呈し、高校受験する地元中学生を応援する目的で行われています。

合格もちを作るため、年明けから餅つきや成型、型抜き、パック詰め、笠間神社で祈祷を行いました。

合格もちは桜咲くにかけた桜エビ入りと、よろこ（ん）ぶにかけた昆布入りの紅白一枚組で、そのお餅を五角形に切り抜いて合格とかけます。贈呈式では四角形の餅を五角形に切るパフォーマンスを行い、「失格（四角）を断ち切る」など先人たちのユーモアに溢れた企画となっています。

西澤校長先生は、「とてもありがとうございます。地域との結びつきを感じる。これからもできる限り続けてほしい」と話されました。



【JA石川県青壯年部協議会実績発表・青年の主張大会】

～本部企画部会～

【役員との意見交換会】

～本部執行部会～

発表者および発表テーマ

実績発表の部 松南支部林中地区 小野 竜太郎さん

「剣崎なんば物語～白山市の食文化を担う重要な地域資源、その継承と活用に挑戦～」

青年の主張の部 北星支部御手洗地区 村中 賢志さん
「私にとつての青年部とは」



1月24日（土）、ホテル金沢において、JA石川県青壯年部協議会「令和7年度実績発表・青年の主張 石川大会」が開催されました。

当JAより出場した2名の代表者はそれぞれの部門で県内JAと発表を競い合いました。会場には、御手洗・林中地区の盟友が集結し、発表前には激励の言葉を、発表後には盛大な拍手を送り、発表者を後押ししました。

結果は実績発表の部では小野竜太郎さんが最優秀賞、青年の主張の部では村中賢志さんが優秀賞を獲得し、大健闘の結果となりました。最優秀賞を獲得した林中地区の小野さんは、今後

静岡県で開催される東海北陸大会へ出場することになります。

また、当日令和7年度看板コンクールの授賞式も行われ、全8作品の中JA松任西南支部が最優秀賞となり、アート部門ではJA松任西南支部が最優秀賞となりました。大会終了後には、県青協設立70年記念式典が行われました。記念史の披露、万歳三唱をJA松任青年部の畠中副委員長がされました。これから先青年部活動が100年以上続くよう、頑張っていきたいと思います。最後に、発表者、応援にきてくれた皆様、お足元の悪い中、ご参加いただきありがとうございました。



12月17日（水）、JA松任役職員と青年部執行部との意見交換会が行われました。冒頭、北村青年部委員長からあいさつを行い、今年のふり返りと来年度以降も青年部の発展に期待していること等が語られました。次に、田組合長からあいさつをいただき、青年部OBとしての経験談や青年部に対する思いを伝えていただきました。

意見交換会では終始、穏やかでありながら熱い語り合いが行われ、なかでも、新盟友の拡大や青年部活動では新しいことにチャレンジして地域に貢献して欲しいとのことでし

